

第3 子どもがすこやかに育つまち

施策7

子育て家庭の不安感や孤立感を軽減し、子どもたちが安心して健康に育つまちづくりを進めます

施策の展開

安心して子どもを生み育てることへの支援

妊娠初期からの相談体制を充実させ、妊娠・出産・子育て期まで様々なニーズに応じた学びの機会を提供することにより、切れ目のない支援を行います。

また、各家庭のニーズに応じた支援施策や保育サービスを子育て家庭が受けることのできるよう、積極的な働きかけを進めます。

子育て家庭のつながりづくり

子育ての不安感や孤立感を軽減するため、子育て家庭のつながりづくりの機会を提供するとともに、地域の子育てサロンなどの活動を支援し、地域全体で子育てを支援する取り組みを進めます。

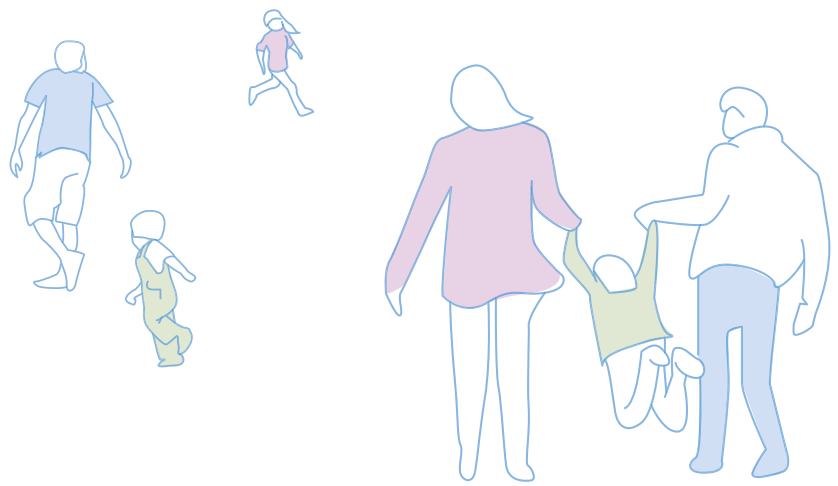
子どもが心身ともに健康に育つための支援

虐待の発生予防や早期発見・早期対応に向けて、子育て関係機関の連携を強化するとともに、困難を抱える子育て家庭に対する声掛けや見守りを進めます。

困難を抱える子どもが心身ともに健康に育つことができる環境づくりに取り組みます。

また、言語や文化の異なる外国籍の子どもやその家庭に対する支援に向けた取り組みを進めます。

	成果指標	現状値	目標値（令和5年度）
1	子育てしやすいまちだと思う区民の割合	67.5%	71%
2	保育所等を利用できていない児童数	35人	35人以下 (令和6年4月1日)
3	地域で行われている子育て支援活動の認知度	29.9%	35%
4	子どもの虐待防止に向けて、地域で子どもを見守っていると思う区民の割合	32.2%	37%



現状

- ・南区の出生数は長期的に減少傾向にあり、令和元年の出生数は、平成元年に比べ、約42%減少しています。
- ・南区で待機児童は平成26年度以降発生していませんが、平成31年4月1日現在の保育所等を利用できていない児童数は、35人となっています。
- ・主任児童委員が主体となって運営する地域の子育てサロンが20箇所あり、地域の子育て支援として大きな役割を担っています。
- ・南区の外国籍の子ども（15歳未満）の数は増加傾向が続いており、令和元年10月1日現在で648人と、平成25年と比べ約44%増加しています。

課題

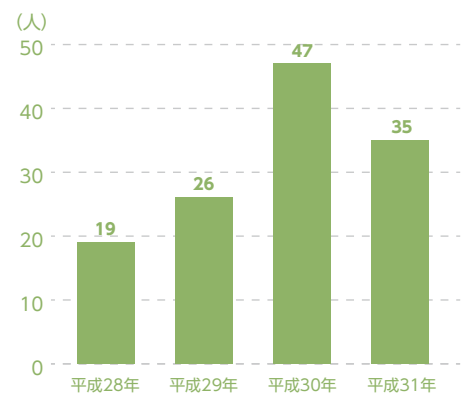
- ・子育て家庭が、子育てに対する悩みや不安を解消し、楽しみながら子育てを行えるよう支援する必要があります。
- ・保育施設の利用を希望する保護者の増加が引き続き見込まれるため、積極的な働きかけが必要です。
- ・子育ての不安感や孤立感を軽減させるため、地域全体で子育てを支援するとともに、支援の担い手を増やしていくことが重要です。
- ・困難を抱える子どもが、自己肯定感を持ち、豊かな感性を身に付けることができるよう支援していく必要があります。
- ・関係機関が緊密に連携して、虐待の発生を未然に防ぎ、また、虐待を早期に発見し、適切な支援につなげることが必要です。
- ・言葉や文化の違いにかかわらず、子どもたちが健やかに育つことができるよう支援していくことが必要です。

図 4.11 南区出生数の推移



出典) 統計名古屋 web 版、名古屋の人口・20 年のあゆみより作成

図 4.12 保育所等を利用できていない児童数の推移



出典) 南区作成